

平成 21 年度

岡山県後期高齢者医療広域連合

一般会計 歳入歳出決算審査意見書  
特別会計

岡山県後期高齢者医療広域連合監査委員



岡 広 監 第 7 号  
平成 22 年 6 月 29 日

岡山県後期高齢者医療広域連合長 高 木 直 矢 様

岡山県後期高齢者医療広域連合監査委員 池 上 進

岡山県後期高齢者医療広域連合監査委員 道 上 正 寿

平成 21 年度岡山県後期高齢者医療広域連合各会計歳入歳出決算審査意見  
について

地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 292 条において準用する同法第 233 条第 2 項の規定により審査に付された平成 21 年度岡山県後期高齢者医療広域連合各会計歳入歳出決算及び証書類その他関係書類を審査した結果、別紙のとおりその意見を提出する。

## 目 次

### 各会計歳入歳出決算審査意見

第1 審査の対象 .....	1
第2 審査の期日 .....	1
第3 審査の方法 .....	1
第4 審査の結果 .....	1
1 決算の総括 .....	2
(1) 決算規模 .....	2
(2) 決算収支 .....	3
2 一般会計 .....	4
(1) 歳入 .....	5
(2) 歳出 .....	8
3 後期高齢者医療特別会計 .....	11
(1) 歳入 .....	12
(2) 歳出 .....	16
4 財産に関する調書 .....	18
5 むすび .....	19

## 平成21年度岡山県後期高齢者医療広域連合各会計歳入歳出決算審査意見

### 第1 審査の対象

平成21年度岡山県後期高齢者医療広域連合一般会計歳入歳出決算

平成21年度岡山県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算  
(決算附属書類)

平成21年度各会計歳入歳出決算事項別明細書

平成21年度各会計実質収支に関する調書

平成21年度財産に関する調書

### 第2 審査の期日

平成22年6月29日

### 第3 審査の方法

審査に当たっては、平成21年度岡山県後期高齢者医療広域連合各会計歳入歳出決算書及び証書類並びに歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書が関係法令に適合して調製されているかどうかを確認し、これらの計数を会計管理者所管の関係諸帳簿及び証拠書類と照合することにより実施した。

また、予算の執行状況等については、これらの資料のほか、例月出納検査及び定期監査の結果も考慮に入れながら、必要に応じ関係職員からの説明を聴取し、その適否について審査した。

### 第4 審査の結果

審査に付された各会計歳入歳出決算書等は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、計数は関係諸帳簿と符合し正確であると認めた。

また、予算の執行については、後期高齢者医療特別会計歳出において検討を要する事項が認められたが、その他についてはおおむね適正であると認めた。

なお、各会計の決算状況及びこれらに対する審査意見は、次のとおりである。

# 1 決算の総括

## (1) 決算規模

一般会計及び特別会計の決算額は

歳入	2,168億6,079万1,440円	(予算現額に対する執行率	100.10%)
一般会計	6,939万5,988円	(同)	100.00%)
特別会計	2,167億9,139万5,452円	(同)	100.10%)
歳出	2,166億1,733万2,185円	(同)	99.98%)
一般会計	6,721万988円	(同)	96.85%)
特別会計	2,165億5,012万1,197円	(同)	99.99%)
歳入歳出差引額	2億4,345万9,255円		
一般会計	218万5,000円		
特別会計	2億4,127万4,255円		

となっている。

次に、決算規模の推移は、次表のとおりである。

決算規模の推移

年度	歳入		歳出	
	決算額	対前年度 増、減(△)額	決算額	対前年度 増、減(△)額
19	1,241,817,820円	1,215,770,345円	1,232,556,612円	1,209,559,080円
20	186,715,381,563円	185,473,563,743円	186,631,980,663円	185,399,424,051円
21	216,860,791,440円	30,145,409,877円	216,617,332,185円	29,985,351,522円

(2) 決算収支

本年度決算収支の状況は次表のとおりで、一般会計及び特別会計の総額では、歳入歳出差引額 2 億 4,345 万 9,255 円の余剰金が生じており、このうち翌年度へ繰り越すべき財源としての額は 89 万 5,650 円であるため、実質収支は 2 億 4,256 万 3,605 円の黒字決算となっている。

また、単年度収支では 1 億 5,916 万 2,705 円の黒字となっている。

決算収支の推移

区 分		21年度	20年度	19年度
歳入総額 A		円	円	円
	一般会計	69,395,988	187,239,736	1,241,817,820
	特別会計	216,791,395,452	186,528,141,827	
	計	216,860,791,440	186,715,381,563	1,241,817,820
歳出総額 B	一般会計	67,210,988	184,147,848	1,232,556,612
	特別会計	216,550,121,197	186,447,832,815	
	計	216,617,332,185	186,631,980,663	1,232,556,612
歳入歳出差引額 (A-B) C	一般会計	2,185,000	3,091,888	9,261,208
	特別会計	241,274,255	80,309,012	
	計	243,459,255	83,400,900	9,261,208
翌年度へ繰り 越すべき財源 (既収入財源) D	一般会計	0	0	0
	特別会計	895,650	0	
	計	895,650	0	0
実質収支 (C-D) E	一般会計	2,185,000	3,091,888	9,261,208
	特別会計	240,378,605	80,309,012	
	計	242,563,605	83,400,900	9,261,208
単年度収支 E-前年度のE	一般会計	Δ906,888	Δ6,169,320	6,211,265
	特別会計	160,069,593	80,309,012	
	計	159,162,705	74,139,692	6,211,265

## 2 一般会計

一般会計の決算額は、歳入 6,939 万 5,988 円（予算現額に対する執行率 100.00%）、歳出 6,721 万 988 円（予算現額に対する執行率 96.85%）、歳入歳出差引額 218 万 5,000 円となっている。

次に、決算規模の推移は、次表のとおりである。

### 一般会計決算規模の推移

年度	歳 入		歳 出	
	決 算 額	対前年度 増、減(△)額	決 算 額	対前年度 増、減(△)額
20	187,239,736円	△1,054,578,084円	184,147,848円	△1,048,408,764円
21	69,395,988円	△117,843,748円	67,210,988円	△116,936,860円

本年度決算収支の状況は次表のとおりで、歳入歳出差引額 218 万 5,000 円の余剰金を生じており、このうち翌年度へ繰り越すべき財源としての額は含まれていないので、実質収支として同額の黒字決算となっている。

また、単年度収支では 90 万 6,888 円の赤字となっている。

平成 21 年度より市町村から派遣されている職員のうち、制度運営事務を担当している職員の派遣負担金を、制度運営のための後期高齢者医療特別会計に組み替えたため、一般会計の規模が縮小となっている。

### 一般会計決算収支の推移

区 分	21年度	20年度
歳入総額 A	69,395,988円	187,239,736円
歳出総額 B	67,210,988円	184,147,848円
歳入歳出差引額 (A-B) C	2,185,000円	3,091,888円
翌年度へ繰り 越すべき財源 (既収入財源) D	0円	0円
実質収支 (C-D) E	2,185,000円	3,091,888円
単年度収支 E-前年度のE	△906,888円	△6,169,320円



(1) 歳入

ア 決算状況

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

一般会計歳入決算状況

区 分		21年度 A	20年度 B	増、減(△) C(A-B)
予算現額		69,395,000円	187,239,000円	△117,844,000円
調定額		69,395,988円	187,239,736円	△117,843,748円
収入 済額	金額	69,395,988円	187,239,736円	△117,843,748円
	予算現額に対する 比率(執行率)	100.00%	100.00%	0.00%
	調定額に対する 比率(収納率)	100.00%	100.00%	0.00%
収入未済額		0円	0円	0円
不納欠損額		0円	0円	0円

収入済額は、6,939万5,988円で、前年度に比べ1億1,784万3,748円の減少となっている。

予算現額に対する執行率は100.00%で、前年度と同率となっている。

調定額に対する収納率は100.00%で、前年度と同率となっている。

収入未済額、不納欠損額はともに0円で、前年度と同額となっている。

イ 財源別収入状況

財源別収入状況は、次表のとおりである。

一般会計一般財源及び特定財源年度別比較表

財源別	区分	21年度		20年度		増、減(△)	
		決算額	構成比	決算額	構成比	金額	構成比
一般財源	分担金及び負担金	円	%	円	%	円	%
		63,631,000	91.69	171,949,000	91.83	△108,318,000	△0.14
	繰越金	3,091,888	4.46	9,261,208	4.95	△6,169,320	△0.49
	諸収入	16,527	0.02	262,150	0.14	△245,623	△0.12
	繰入金			0	0.00		
	小計	66,739,415	96.17	181,472,358	96.92	△114,732,943	△0.75
特定財源	国庫支出金	1,319,000	1.90	1,253,000	0.67	66,000	1.23
	県支出金	1,319,000	1.90	1,253,000	0.67	66,000	1.23
	財産収入	18,573	0.03	3,261,378	1.74	△3,242,805	△1.71
	小計	2,656,573	3.83	5,767,378	3.08	△3,110,805	0.75
合	計	69,395,988	100.00	187,239,736	100.00	△117,843,748	0.00

一般財源は6,673万9,415円で、前年度に比べ1億1,473万2,943円の減少となっている。歳入総額に占める割合は96.17%で、前年度に比べ0.75ポイント減少している。

特定財源は265万6,573円で、前年度に比べ311万805円減少となっている。歳入総額に占める割合3.83%となっている。

ウ 款別決算状況

款別の決算状況は、次のとおりである。

第1款 分担金及び負担金

収入済額は6,363万1,000円で、前年度に比べ1億831万8,000円の減少となっている。

予算現額6,363万1,000円に対し同額となっている。

事務費負担金が1億831万8,000円減少している。

これは、制度運営事務を担当している職員の派遣負担金を、制度運営のための後期高齢者医療特別会計に組み替えたためである。

項別状況

項	21年度			20年度			増、減(△)
	予算現額	収入済額		予算現額	収入済額		
		A	執行率		A	執行率	A-B
負担金	円 63,631,000	円 63,631,000	% 100.00	円 171,949,000	円 171,949,000	% 100.00	円 △108,318,000

第2款 国庫支出金

収入済額は131万9,000円で、前年度と比べ6万6,000円の増加となっている。

予算現額131万9,000円に対し同額となっている。

保険料不均一賦課国庫負担金が6万6,000円増加している。

項別状況

項	21年度			20年度			増、減(△)
	予算現額	収入済額		予算現額	収入済額		
		A	執行率		A	執行率	A-B
国庫負担金	円 1,319,000	円 1,319,000	% 100.00	円 1,253,000	円 1,253,000	% 100.00	円 66,000

第3款 県支出金

収入済額は131万9,000円で、前年度に比べ6万6,000円の増加となっている。

予算現額131万9,000円に対し同額となっている。

保険料不均一賦課県負担金が6万6,000円増加している。

項別状況

項	21年度			20年度			増、減(△)
	予算現額	収入済額		予算現額	収入済額		
		A	執行率		A	執行率	A-B
県負担金	円 1,319,000	円 1,319,000	% 100.00	円 1,253,000	円 1,253,000	% 100.00	円 66,000

#### 第4款 財産収入

収入済額は1万8,573円で、前年度に比べ324万2,805円の減少となっている。

予算現額1万9,000円に対し427円の減少となっている。

財政調整基金利子が2万1,000円減少し、後期高齢者医療制度臨時特例基金利子が皆減している。

#### 項別状況

項	21年度			20年度			増、減(△)
	予算現額	収入済額		予算現額	収入済額		
		A	執行率		A	執行率	A-B
財産運用収入	円 19,000	円 18,573	% 97.75	円 3,262,000	円 3,261,378	% 99.98	円 △3,242,805

#### 第5款 繰越金

収入済額は309万1,888円で、前年度に比べ616万9,320円の減少となっている。

予算現額309万1,000円に対し888円の増加となっている。

前年度繰越金が616万9,320円減少している。

#### 項別状況

項	21年度			20年度			増、減(△)
	予算現額	収入済額		予算現額	収入済額		
		A	執行率		A	執行率	A-B
繰越金	円 3,091,000	円 3,091,888	% 100.03	円 9,261,000	円 9,261,208	% 100.00	円 △6,169,320

#### 第6款 諸収入

収入済額は1万6,527円で、前年度に比べ24万5,623円の減少となっている。

予算現額1万6,000円に対し527円の増加となっている。

預金利子の収入済額は1万5,437円で、前年度に比べ24万5,666円の減少となっている。

雑入の収入済額は1,090円で、前年度に比べ43円の増加となっている。

#### 項別状況

項	21年度			20年度			増、減(△)
	予算現額	収入済額		予算現額	収入済額		
		A	執行率		A	執行率	A-B
預金利子	円 15,000	円 15,437	% 102.91	円 261,000	円 261,103	% 100.04	円 △245,666
雑入	1,000	1,090	109.00	0	1,047	—	43
計	16,000	16,527	103.29	261,000	262,150	100.44	△245,623

(2) 歳 出

ア 決算状況

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

一般会計歳出決算状況

区 分	21年度 A	20年度 B	増、減(△) C(A-B)
予算現額	69,395,000円	187,239,000円	△117,844,000円
支出済額	67,210,988円	184,147,848円	△116,936,860円
執行率	96.85%	98.35%	△1.50%
翌年度繰越額	継続費通次繰越	0円	0円
	繰越明許費	0円	0円
	事故繰越し	0円	0円
	計	0円	0円
	予算現額に対する比率	0.00%	0.00%
不用額	2,184,012円	3,091,152円	△907,140円

支出済額は6,721万988円で、前年度に比べ1億1,693万6,860円の減少となっている。

予算現額に対する執行率は96.85%となっている。

翌年度繰越額は0円で、前年度と同額となっている。

また、不用額は218万4,012円で、前年度に比べ90万7,140円の減少となっている。

不用額の主なものは、需用費、役務費、負担金補助及び交付金で、経費の縮減などによるものである。

イ 用途別決算状況

歳出決算額を「人件費」及び「物件費その他の経費」に分類すると、人件費は97万7,888円で、前年度に比べ3万4,221円の減少となっているが、歳出総額も減少していることから歳出に占める割合は1.45%となっている。

物件費その他の経費は6,623万3,100円で、前年度に比べ1億1,690万2,639円の減少となっており、歳出総額に占める割合は98.55%である。

一般会計用途別決算状況

年度	人 件 費		物件費その他の経費	
	金 額	構成比	金 額	構成比
20	1,012,109円	0.55%	183,135,739円	99.45%
21	977,888円	1.45%	66,233,100円	98.55%

ウ 款別決算状況

款別の決算状況は、次のとおりである。

第1款 議会費

支出済額は77万9,012円で、前年度に比べ12万4,474円の増加となっている。  
 予算現額92万7,000円に対する執行率は84.04%である。

項別状況

項	21年度					20年度 支出済額 B	増、減(△) A-B
	予算現額	支出済額 A	執行率	翌年度 繰越額	不用額		
議 会 費	円 927,000	円 779,012	% 84.04	円 0	円 147,988	円 654,538	円 124,474

第2款 総務費

支出済額は6,379万3,976円で、前年度に比べ1億1,397万1,529円の減少となっている。

これは、制度運営事務を担当している職員の派遣負担金を、制度運営のための後期高齢者医療特別会計に組み替えたためである。

予算現額6,573万円に対する執行率は97.05%である。

項別状況

項	21年度					20年度 支出済額 B	増、減(△) A-B
	予算現額	支出済額 A	執行率	翌年度 繰越額	不用額		
総務管理費	円 65,523,000	円 63,600,358	% 97.07	円 0	円 1,922,642	円 177,663,896	円 △114,063,538
選挙費	135,000	132,064	97.83	0	2,936	75,982	56,082
監査委員費	72,000	61,554	85.49	0	10,446	25,627	35,927
計	65,730,000	63,793,976	97.05	0	1,936,024	177,765,505	△113,971,529
説 明	◎主な対前年度増減の状況 (項 総務管理費) (目 一般管理費) 手数料の増 325万 6,506円 (68.82%) 職員派遣負担金の減 △1億 1,322万 94円 (△75.62%) 財政調整基金積立金の減 △373万 5,056円 (△70.48%)						

### 第3款 民生費

支出済額は263万8,000円で、前年度に比べ308万9,805円の減少となっている。  
 予算現額263万8,000円に対する執行率は100.00%である。

#### 項別状況

項	21年度					20年度 支出済額 B	増、減(△) A-B
	予算現額	支出済額 A	執行率	翌年度 繰越額	不用額		
社会福祉費	円 2,638,000	円 2,638,000	% 100.00	円 0	円 0	円 5,727,805	円 △3,089,805
計	2,638,000	2,638,000	100.00	0	0	5,727,805	△3,089,805
説明	◎対前年度増減の状況 (項 社会福祉費) (目 老人福祉費) 保険料不均一賦課繰出金の増 13万 2,000円 ( 5.27%) 高齢者医療制度臨時特例基金積立金の減 △322万 1,805円 (皆 減)						

### 第4款 予備費

支出済額は0円で、前年度と同額となっている。

#### 項別状況

項	21年度					20年度 支出済額 B	増、減(△) A-B
	予算現額	支出済額 A	執行率	翌年度 繰越額	不用額		
予備費	円 100,000	円 0	% -	円 0	円 100,000	円 0	円 0

### 3 後期高齢者医療特別会計

後期高齢者医療特別会計の決算額は、歳入 2,167 億 9,139 万 5,452 円（予算現額に対する執行率 100.10%）、歳出 2,165 億 5,012 万 1,197 円（予算現額に対する執行率 99.99%）、歳入歳出差引額 2 億 4,127 万 4,255 円となっている。

次に、決算規模の推移は、次表のとおりである。

後期高齢者医療特別会計決算規模の推移

年度	歳 入		歳 出	
	決 算 額	対前年度 増、減(△)額	決 算 額	対前年度 増、減(△)額
20	186,528,141,827円		186,447,832,815円	
21	216,791,395,452円	30,263,253,625円	216,550,121,197円	30,102,288,382円

本年度決算収支の状況は次表のとおりで、歳入歳出差引額 2 億 4,127 万 4,255 円の余剰金を生じており、このうち翌年度へ繰り越すべき財源としての額は 89 万 5,650 円であるため、実質収支は 2 億 4,037 万 8,605 円の黒字決算となっている。

また、単年度収支では 1 億 6,006 万 9,593 円の黒字となっている。

後期高齢者医療特別会計決算収支の推移

区 分	21年度	20年度
歳入総額 A	216,791,395,452円	186,528,141,827円
歳出総額 B	216,550,121,197円	186,447,832,815円
歳入歳出差引額 (A-B) C	241,274,255円	80,309,012円
翌年度へ繰り 越すべき財源 (既収入財源) D	895,650円	0円
実質収支 (C-D) E	240,378,605円	80,309,012円
単年度収支 E-前年度のE	160,069,593円	80,309,012円

## (1) 歳 入

## ア 決算状況

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

## 後期高齢者医療特別会計歳入決算状況

区 分		21年度 A	20年度 B	増、減(△) C(A-B)
予 算 現 額		216,581,858,000円	187,220,798,000円	29,361,060,000円
調 定 額		216,791,395,452円	186,876,293,314円	29,915,102,138円
収 入 済 額	金 額	216,791,395,452円	186,528,141,827円	30,263,253,625円
	予算現額に対する 比率(執行率)	100.10%	99.63%	0.47%
	調定額に対する 比率(収納率)	100.00%	99.81%	0.19%
収 入 未 済 額		0円	348,151,487円	△348,151,487円
不 納 欠 損 額		0円	0円	0円

収入済額は2,167億9,139万5,452円で、予算現額に対する執行率は100.10%で、調定額に対する収納率は100.00%となっている。

収入未済額は0円で、不納欠損額は0円となっている。

## イ 款別決算状況

款別の決算状況は、次のとおりである。

款	予 算 現 額 A	収 入 済 額 B	執行率 $\frac{B}{A}$	予算現額に比し 増、減(△) B-A
	円	円	%	円
市 町 村 支 出 金	35,400,378,000	35,634,375,503	100.66	233,997,503
うち保険料等負担金	17,887,578,000	18,121,575,296	101.31	233,997,296
うち療養給付費負担金	17,030,432,000	17,030,432,207	100.00	207
国 庫 支 出 金	71,829,966,000	71,829,968,462	100.00	2,462
うち療養給付費等負担金	50,561,264,000	50,561,264,220	100.00	220
うち高額医療費負担金	666,273,000	666,273,931	100.00	931
県 支 出 金	17,216,677,000	17,216,678,108	100.00	1,108
うち療養給付費等負担金	16,478,428,000	16,478,428,693	100.00	693
うち高額医療費負担金	704,645,000	704,645,415	100.00	415
支 払 基 金 交 付 金	88,015,359,000	88,015,359,000	100.00	0
特 別 高 額 医 療 費 共 同 事 業 交 付 金	32,849,000	32,849,674	100.00	674
繰 入 金	3,822,298,000	3,797,827,894	99.36	△24,470,106
諸 収 入	176,423,000	176,429,516	100.00	6,516
財 産 収 入	7,599,000	7,598,283	99.99	△717
繰 越 金	80,309,000	80,309,012	100.00	12
計	216,581,858,000	216,791,395,452	100.10	209,537,452



収入済額は2,167億9,139万5,452円でこの主なものは市町村負担金、国庫負担金、県負担金、支払基金交付金である。予算現額に対する執行率は100.10%で予算現額に対する増収の主なものは保険料等負担金である。

保険料等負担金については市町村が広域連合に納付すべき額を調定しているため調定額に対する収納率は100.00%となっている。保険料については、14ページの表のとおり市町村における調定額142億8,357万2,316円に対し、収納額は141億989万6,024円となっている。収納率については現年分が99.15%で昨年度より0.14ポイント上昇している。滞納繰越分を含んだ収納率は98.62%となっている。収入未済額が現年分で1億2,011万4,465円、滞納繰越分が7,662万6,527円となっており、累計は1億9,674万992円となり、昨年度末より5,952万3,126円増加している。また、不納欠損額は、滞納繰越分で1万9,800円となっている。

保険料の収納率の向上は財政の健全化に極めて重要であり、被保険者の不公平感を生み出す要因でもあることから、今後も市町村と連携を図りながら滞納者に対する状況調査等を行い、その実態を把握するよう努めていただきたい。また、状況によっては滞納処分等による徴収を図り、積極的に徴収事務に取り組むよう要望されたい。

また、収納額の中には還付未済額が2,306万4,700円含まれており、昨年度より140万4,550円減少している。還付未済額については昨年度の決算審査での指摘を受けて、全額広域連合が収入し、市町村の還付実績に応じて市町村へ支払うよう事務の処理が行われている。還付事務については、早期に還付が行えるよう引き続き市町村と連携を図られたい。

保険料等負担金の内訳は次のとおりである。

#### 保険料等負担金内訳の状況

年度	保険料	延滞金	基盤安定分	計
	円	円	円	円
20	13,606,374,013	1,051,300	3,603,300,185	17,210,725,498
21	14,312,608,989	2,642,760	3,806,323,547	18,121,575,296

保険料収入と被保険者数の状況は次のとおりである。

#### 保険料収入と被保険者数等の状況

年度	保険料収入 A	年間平均 被保険者数 B	1人当たり 保険料収入 $\frac{A}{B}$
	円	人	円
20	13,606,374,013	239,673	56,771
21	14,312,608,989	244,683	58,494

【参考】 各市町村保険料収納状況

市町村名		調定額 A	収納額 B	還付未済額 C	収入未済額 (A - (B - C)) D	収納率 (B - C) A	不納 欠損額
		円	円	円	円	%	円
岡 山 市	現 年 分	5,099,657,900	5,059,394,710	11,074,800	51,337,990	98.99	0
	滞 納 繰 越 分	64,778,100	30,228,792	103,900	34,653,208	46.50	19,800
	合 計	5,164,436,000	5,089,623,502	11,178,700	85,991,198	98.33	19,800
倉 敷 市	現 年 分	3,130,343,600	3,101,874,570	2,669,200	31,138,230	99.00	0
	滞 納 繰 越 分	30,190,400	11,046,500	1,900	19,145,800	36.58	0
	合 計	3,160,534,000	3,112,921,070	2,671,100	50,284,030	98.40	0
津 山 市	現 年 分	738,352,300	735,725,050	1,761,700	4,388,950	99.40	0
	滞 納 繰 越 分	5,783,684	2,753,630	5,000	3,035,054	47.52	0
	合 計	744,135,984	738,478,680	1,766,700	7,424,004	99.00	0
玉 野 市	現 年 分	631,156,200	627,503,500	937,800	4,590,500	99.27	0
	滞 納 繰 越 分	3,794,900	983,300	1,200	2,812,800	25.87	0
	合 計	634,951,100	628,486,800	939,000	7,403,300	98.83	0
笠 岡 市	現 年 分	435,784,200	432,961,200	598,500	3,421,500	99.21	0
	滞 納 繰 越 分	3,093,150	1,134,900	98,700	2,056,950	33.49	0
	合 計	438,877,350	434,096,100	697,200	5,478,450	98.75	0
井 原 市	現 年 分	330,874,600	329,823,700	0	1,050,900	99.68	0
	滞 納 繰 越 分	1,428,050	545,400	0	882,650	38.19	0
	合 計	332,302,650	330,369,100	0	1,933,550	99.41	0
総 社 市	現 年 分	453,102,800	450,261,000	1,364,900	4,206,700	99.07	0
	滞 納 繰 越 分	3,787,700	1,647,100	58,900	2,199,500	41.93	0
	合 計	456,890,500	451,908,100	1,423,800	6,406,200	98.59	0
高 梁 市	現 年 分	301,100,400	300,613,400	472,500	959,500	99.68	0
	滞 納 繰 越 分	1,483,500	907,067	0	576,433	61.14	0
	合 計	302,583,900	301,520,467	472,500	1,535,933	99.49	0
新 見 市	現 年 分	305,931,300	305,313,100	243,200	861,400	99.71	0
	滞 納 繰 越 分	818,900	678,800	0	140,100	82.89	0
	合 計	306,750,200	305,991,900	243,200	1,001,500	99.67	0
備 前 市	現 年 分	336,323,000	333,009,000	336,400	3,650,400	98.91	0
	滞 納 繰 越 分	3,300,200	1,497,050	0	1,803,150	45.36	0
	合 計	339,623,200	334,506,050	336,400	5,453,550	98.39	0
瀬 戸 内 市	現 年 分	278,705,000	277,329,100	636,000	2,011,900	99.27	0
	滞 納 繰 越 分	2,839,900	1,194,300	8,600	1,654,200	41.75	0
	合 計	281,544,900	278,523,400	644,600	3,666,100	98.69	0
赤 磐 市	現 年 分	305,069,800	303,103,600	477,600	2,443,800	99.19	0
	滞 納 繰 越 分	2,289,700	986,700	0	1,303,000	43.09	0
	合 計	307,359,500	304,090,300	477,600	3,746,800	98.78	0
真 庭 市	現 年 分	370,845,400	369,567,900	180,500	1,458,000	99.60	0
	滞 納 繰 越 分	2,062,522	1,287,700	7,200	782,022	62.08	0
	合 計	372,907,922	370,855,600	187,700	2,240,022	99.39	0
美 作 市	現 年 分	245,247,900	244,768,640	385,700	864,960	99.64	0
	滞 納 繰 越 分	1,714,520	1,062,060	0	652,460	61.94	0
	合 計	246,962,420	245,830,700	385,700	1,517,420	99.38	0
浅 口 市	現 年 分	291,165,200	289,056,915	91,900	2,200,185	99.24	0
	滞 納 繰 越 分	2,709,740	1,051,390	0	1,658,350	38.80	0
	合 計	293,874,940	290,108,305	91,900	3,858,535	98.68	0

市町村名		調定額 A	収納額 B	還付未済額 C	収入未済額 (A - (B - C)) D	収納率 (B - C) A	不納 欠損額
		円	円	円	円	%	円
和 気 町	現 年 分	134,755,100	134,720,400	823,000	857,700	99.36	0
	滞 納 繰 越 分	1,273,700	630,700	0	643,000	49.51	0
	合 計	136,028,800	135,351,100	823,000	1,500,700	98.89	0
早 島 町	現 年 分	91,306,000	90,690,200	9,300	625,100	99.31	0
	滞 納 繰 越 分	838,900	200,400	0	638,500	23.88	0
	合 計	92,144,900	90,890,600	9,300	1,263,600	98.62	0
里 庄 町	現 年 分	84,584,700	84,095,300	0	489,400	99.42	0
	滞 納 繰 越 分	622,200	409,700	0	212,500	65.84	0
	合 計	85,206,900	84,505,000	0	701,900	99.17	0
矢 掛 町	現 年 分	123,820,500	123,197,050	0	623,450	99.49	0
	滞 納 繰 越 分	524,750	466,600	0	58,150	88.91	0
	合 計	124,345,250	123,663,650	0	681,600	99.45	0
新 庄 村	現 年 分	6,712,000	6,712,000	0	0	100.00	0
	滞 納 繰 越 分	0	0	0	0		0
	合 計	6,712,000	6,712,000	0	0	100.00	0
鏡 野 町	現 年 分	93,179,000	91,994,800	0	1,184,200	98.72	0
	滞 納 繰 越 分	1,059,500	418,000	0	641,500	39.45	0
	合 計	94,238,500	92,412,800	0	1,825,700	98.06	0
勝 央 町	現 年 分	67,317,100	66,878,600	0	438,500	99.34	0
	滞 納 繰 越 分	688,100	364,100	0	324,000	52.91	0
	合 計	68,005,200	67,242,700	0	762,500	98.87	0
奈 義 町	現 年 分	38,067,100	37,875,200	0	191,900	99.49	0
	滞 納 繰 越 分	198,600	92,300	0	106,300	46.47	0
	合 計	38,265,700	37,967,500	0	298,200	99.22	0
西 栗 倉 村	現 年 分	9,031,300	9,031,300	0	0	100.00	0
	滞 納 繰 越 分	0	0	0	0		0
	合 計	9,031,300	9,031,300	0	0	100.00	0
久 米 南 町	現 年 分	42,271,500	42,157,900	0	113,600	99.73	0
	滞 納 繰 越 分	214,200	57,500	0	156,700	26.84	0
	合 計	42,485,700	42,215,400	0	270,300	99.36	0
美 咲 町	現 年 分	123,520,900	122,906,700	18,800	633,000	99.48	0
	滞 納 繰 越 分	215,500	134,000	0	81,500	62.18	0
	合 計	123,736,400	123,040,700	18,800	714,500	99.42	0
吉 備 中 央 町	現 年 分	79,033,400	79,356,400	695,700	372,700	99.52	0
	滞 納 繰 越 分	603,700	196,800	1,800	408,700	32.30	0
	合 計	79,637,100	79,553,200	697,500	781,400	99.01	0
合 計	現 年 分	14,147,258,200	14,049,921,235	22,777,500	120,114,465	99.15	0
	滞 納 繰 越 分	136,314,116	59,974,789	287,200	76,626,527	43.78	19,800
	合 計	14,283,572,316	14,109,896,024	23,064,700	196,740,992	98.62	19,800

## (2) 歳 出

## ア 決算状況

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

## 後期高齢者医療特別会計歳出決算状況

区 分	21年度 A	20年度 B	増、減(△) C(A-B)
予 算 現 額	216,581,858,000円	187,220,798,000円	29,361,060,000円
支 出 済 額	216,550,121,197円	186,447,832,815円	30,102,288,382円
執 行 率	99.99%	99.59%	0.40%
翌年度繰越額	継続費通次繰越	0円	0円
	繰越明許費	895,650円	0円
	事故繰越し	0円	0円
	計	895,650円	0円
	予算現額に対する比率	0.00%	0.00%
不用額	30,841,153円	772,965,185円	△742,124,032円

支出済額は2,165億5,012万1,197円となっている。

予算現額に対する執行率は99.99%となっている。

翌年度繰越額は89万5,650円となっている。

また、不用額は3,084万1,153円となっている。

## イ 款別決算状況

款別の決算状況は、次のとおりである。

款	予 算 現 額 A	支 出 済 額 B	執行率 $\frac{B}{A}$	翌年度繰越額 C	不用額 A-B-C
総 務 費	円 584,934,000	円 572,313,677	% 97.84	円 895,650	円 11,724,673
保 険 給 付 費	206,930,245,000	206,929,984,833	100.00	0	260,167
県財政安定化基金 拠 出 金	142,667,000	142,666,839	100.00	0	161
特別高額医療費 共 同 事 業 拠 出 金	31,394,000	31,393,456	100.00	0	544
保 健 事 業 費	115,407,000	103,341,000	89.54	0	12,066,000
諸 支 出 金	2,415,297,000	2,408,608,597	99.72	0	6,688,403
うち被保険者還付金	25,470,000	18,838,550	73.96	0	6,631,450
うち国庫負担金等償還金	2,385,144,000	2,385,143,613	100.00	0	387
予 備 費	100,000	0	0.00	0	100,000
基 金 積 立 金	6,361,814,000	6,361,812,795	100.00	0	1,205
計	216,581,858,000	216,550,121,197	99.99	895,650	30,841,153

支出総額は2,165億5,012万1,197円で、この主なものは総務管理費、療養諸費、高額療養諸費、その他医療給付費である。

予算現額2,165億8,185万8,000円に対する執行率は99.99%である。

不用額の主なものは、総務費の役務費、委託料、保健事業費の負担金補助及び交付金、諸支出金の償還金利子及び割引料で、経費の縮減などによるものである。

保健事業については、被保険者の健康診査の受診が医療費適正化につながるため、市町村と協力を図りながら健康診査受診率の向上へ積極的に取り組むよう要望する。

さらに、保険給付については、保険料滞納者に対する高額療養費の支給が、把握できる1月支給分以降でも1,377万6,070円あった。この滞納者に対する給付費については、保険料滞納分に充当するなど、その対応について今後検討されたい。

療養諸費の状況は次表のとおりである。

#### 療養諸費の状況

年度	療養諸費額 A	前年度比	年間平均 被保険者数 B	療養諸費 件数 C	一人当たり の療養諸費 $\frac{A}{B}$	年間受診率 $\frac{C}{B}$
	円	%	人	件	円	%
20	172,355,505,580	—	239,673	5,703,627	719,128	2,380
21	197,695,539,442	114.70	244,683	6,488,791	807,966	2,652

「療養諸費額」は審査支払手数料を控除した額。

高額療養諸費の状況は次表のとおりである。

#### 高額療養諸費の状況

年度	高額療養諸費額 A	前年度比	年間平均 被保険者数 B	高額療養 諸費件数 C	一人当たり の高額療養諸費 $\frac{A}{B}$	年間受診率 $\frac{C}{B}$
	円	%	人	件	円	%
20	6,165,346,129	—	239,673	302,918	25,724	126
21	7,888,320,317	127.95	244,683	445,058	32,239	182

21年度の「高額療養諸費額」及び「高額療養諸費件数」には高額介護合算療養費が含まれる。

保健事業費の状況は次表のとおりである。

#### 保健事業による健康診査の受診状況

年度	対象者数 A	受診件数 B	受診率 $\frac{B}{A}$	受診率の増減
	人	件	%	%
20	237,780	29,760	12.52	—
21	242,883	27,977	11.52	△ 1.00

「対象者数」は各年度当初4月1日現在の被保険者数。

「受診件数」は個別健診、集団健診の合計件数。

#### 4 財産に関する調書

平成21年度における財産の取得及び処分の異動状況は、次のとおりである。

(1) 公有財産

本年度末における公有財産はなく、本年度中の異動はない。

(2) 物品

本年度末における取得金額100万円以上の物品は3点で、前年度末より2点増加している。これは、市町村端末の増加に伴うサーバー機器が増加したためである。

(3) 債権

本年度末における債権はなく、本年度中の異動はない。

(4) 基金

本年度末における基金は3基金45億5,750万6,429円で、前年度末より28億2,148万4,614円増加している。これは、岡山県後期高齢者医療広域連合財政調整基金が156万4,517円、岡山県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療制度臨時特例基金が4億8,282万3,455円、岡山県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療給付費準備基金が23億3,709万6,642円増加したためである。

基金名	前年度末 現在高	決算年度 中増減	決算年度末 現在高
岡山県後期高齢者医療広域連合 財政調整基金	20,057,367	1,564,517	21,621,884
岡山県後期高齢者医療広域連合 後期高齢者医療制度臨時特例基金	1,715,964,448	482,823,455	2,198,787,903
岡山県後期高齢者医療広域連合 後期高齢者医療給付費準備基金	0	2,337,096,642	2,337,096,642

「前年度末現在高」とは平成21年3月31日現在の数値。

「決算年度末現在高」とは平成22年3月31日現在の数値。

## 5 むすび

平成21年度の決算審査の概要は以上のとおりである。

本年度の決算規模は一般会計、特別会計を合わせた総額で、歳入2,168億6,079万1,440円、歳出2,166億1,733万2,185円となり、前年度に比べ歳入では301億4,540万9,877円、歳出では299億8,535万1,522円それぞれ増加している。これは、平成20年度の保険給付費は11か月分であったのに対し、平成21年度は12か月分であったこと、また、保険給付費の伸びによるものがほとんどである。

これを決算収支でみると形式収支（歳入歳出差引額）は、一般会計では218万5,000円の黒字、特別会計では2億4,127万4,255円の黒字となっており、このうち翌年度へ繰り越すべき財源としての額は特別会計では89万5,650円のため実質収支は一般会計では218万5,000円の黒字、特別会計では2億4,037万8,605円の黒字となっている。また、前年度実質収支を控除した単年度収支においては、一般会計では90万6,888円の赤字、特別会計では1億6,006万9,593円の黒字となっている。

歳入については、予算現額に対する歳入決算額の割合は、一般会計では100.00%、特別会計では100.10%であり、また、調定額に対する割合は一般会計では100.00%、特別会計では100.00%となっている。

歳入のうち、特別会計において収入未済額は生じていないが、市町村における保険料の実質収納率は、98.62%であり、収入未済額が生じている。

今後とも、財源の安定確保と被保険者負担の公平のためにも保険料の収入未済額の解消は重要な課題である。そのため、効果的かつ効率的な取組を積極的に講じ、収納率の向上に今後とも一層努力されるよう要望する。

歳出については、前年度に比べ一般会計1億1,693万6,860円の減、特別会計301億228万8,382円の増となっている。一般会計の減は平成21年度より市町村から派遣されている職員のうち、制度運営事務を担当している職員の派遣負担金を、制度運営のための後期高齢者医療特別会計に組み替えたことによるものである。予算現額に対する執行率は一般会計では96.85%、特別会計では99.99%である。

一般会計においては大部分が、管理的経費及び派遣職員の人件費負担金となっている。

特別会計においては大部分が保険給付費で、歳出に占める割合は、95.56%である。

また、保険給付については、先に指摘したとおり、検討・改善を要する事項が認められた。

医療費については年々増加しており、このことが被保険者の負担増につながることから、本年度においては、新たに医療費通知の送付、ジェネリック医薬品についての広報チラシの配布等の医療費抑制のための施策を行っており、被保険者への意識づけに努力されている。医療費抑制の第一は被保険者の医療に対する意識づけであり、さらに啓発されることを望む。また、レセプト点検委託業務については、不正な請求や請求ミスをなくすよう、より一層厳格に取り組んでもらいたい。

さらに、被保険者の健康に対する意識づくりによる医療費抑制を図ることも重要であることから、健康診査の受診率の向上を目指すよう市町村との協力を要望する。

以上の点に留意し、医療費の抑制を図らねばならない。

本年度は最終的に黒字となり、その総額は約46億円となった。うち保険料の繰越額は約11億円となっており、これらのほとんどが後期高齢者医療給付費準備基金へ積み立て

られている。

後期高齢者医療制度は2年間で財政運営が行われており、平成21年度をもって区切りの年となった。これまでの2年間については国の指針に基づき給付費総額を試算したものであり、実際の給付費と比較して見込額が高く、結果余剰が多くなり、保険料の繰越額は約34億円となった。来年度以降の財政運営については、収支の均衡が図られるものであることを期待する。

また現在、国において低所得者に対する保険料軽減などの一時的な措置が講じられており、これら特別措置の有無により財政運営への影響が考えられることから、現政権が掲げる後期高齢者医療制度廃止までの3年間については引き続き措置を講じるよう併せて被保険者の負担を増やさないためにも安定した制度運営がなされるよう国庫財源の確保について強く国へ要望を続けていきたい。

そして、被保険者が安心して医療を受けられるよう今後とも努力されたい。